

令和元年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「杉戸町学力向上プロジェクトリーフレットに基づく校内研修の取組」

杉戸町教育委員会・杉戸町立杉戸第二小学校

1 杉戸町学力向上プロジェクトリーフレットについて

杉戸町では、町ぐるみで、新学習指導要領で求められる資質・能力の育成を目指すとともに、児童・生徒一人一人に確かな学力を確実に身に付けさせるため、「杉戸町学力向上プロジェクトリーフレット」を作成している。目的の一つ目として、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った日々の授業改善により質の高い学びを実現する「授業改革」を中心に、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことである。二つ目として、教師相互が学び合う機会を通して、「授業構想力」「授業実践力」「子供の学びを見取る力」「研究協議を深める力」を向上させることである。

2 各校での共通実践の5つの柱

標記リーフレットには、学力向上プロジェクトにおける各校での共通実践の5つの柱がある。

①学級づくり 教室づくり

学級（教室）に「学びのルール」「誰もが安心して学ぶことができるあたたかい関係」「美しく、整頓された場」があることを重点に「学びの空間」をつくる。

②基礎力・学習スキルの育成

子供たちが主体的に学ぶために、児童・生徒の実態、発達段階に応じて、基礎力・学習スキルを計画的に育成する。

③授業改革

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、町ぐるみで授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現する。

④家庭学習の推進

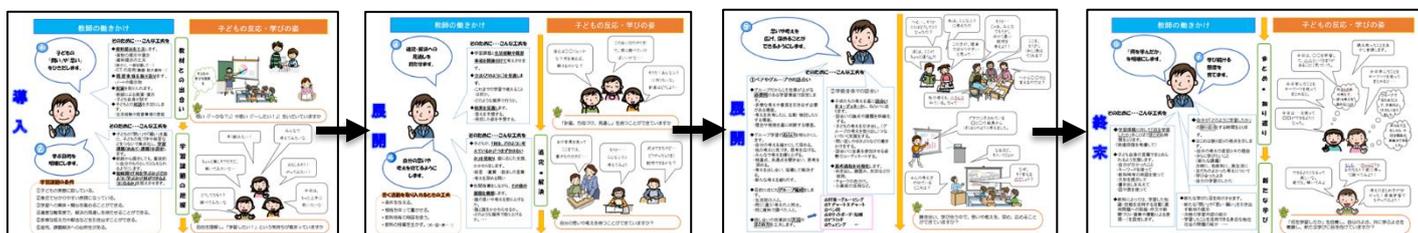
家庭学習の実践を通し、「家庭での学習習慣」「予習を通して学ぶ意欲を高め授業に生かす力」「復習を通して学習内容を定着する力」「自ら学ぶ楽しさ」などを育む。

⑤非認知能力の育成

全校共通の重点「GRIT（やり抜く力）」を含めた非認知能力（コミュニケーション力、協調性、自制心、自尊心など）を学校生活の様々な活動を通して育む。

3 杉戸町授業スタンダード

若手からベテランまで全ての教師が「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業を実践できるポイントや教師の働きかけや子供の反応・学びの姿が具体的に示された授業スタンダードを掲載して、子供たち一人一人を大切に、学ぶ楽しさや「わかった」「できた」を実感できる授業を進めることができるようにしている。



4 杉戸第二小学校での具体的な取組

(1) 杉戸町学力向上プロジェクトリーフレットを生かした校内研修の取組

杉戸町教育委員会作成のリーフレットに則り、研究協議を行っている。また、従来のように教師の指導法のみ注目した協議ではなく、参観する教師が子供の学びの姿・変容を見取れるよう、事前に各教員が参観する対象児童を定めている。

1、授業者反省

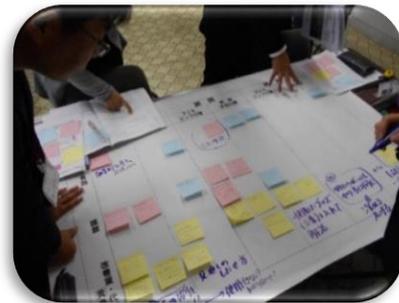
2、グループ協議、発表

「子供の学びの姿」を中心にした研究協議を行う。

ピンク色の付箋…子供の学びの事実

水色の付箋…教師の働きかけ等

黄色の付箋…教師の働きかけ等の改善策・代案



3、全体協議

各グループから出た意見を集約し、全体でのテーマをファシリテーターが決め、それに基づき全体で協議を行う。

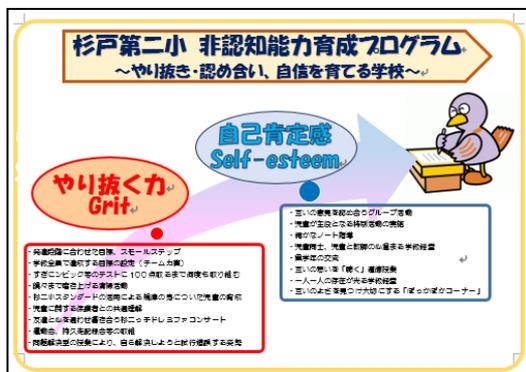
今までの全体協議のテーマ

○算数の効果的な練り上げ方法について

○本時の授業に見られる非認知能力（やり抜く力、自己肯定感）の育成について

(2) 非認知能力の育成について

本校では学習内容の定着を充実させるため、非認知能力の育成についても力を入れている。「やり抜く力」「自己肯定感」の育成・醸成に向け、方略等の研修を重ねている。また、中学校区では「グリットスコア」を作成・実施し、その変容を研修したり、非認知能力に関する研修会を開いたりするなど中学校区全体でも、積極的に非認知能力の育成に向け、実践的な取組を行っている。



グリットスコア		年 組 番 名 前 ()				
		まったく あては まらない	あまり あては まらない	どちらか もいそな い	あては まら	あてはま る
1	私は、新しい考えや計画を思いつくと、それまで考えていたことは忘れてしまふようになります	5	4	3	2	1
2	私は、失敗してもめげることはありません	1	2	3	4	5
3	私は、一度目標を決めても、その後べつ目標にかえることがよくあります	5	4	3	2	1
4	私は、まじめにコツコツと取り組むタイプです	1	2	3	4	5
5	私は、何カ月も同じ目標に向かって取り組むことができません	5	4	3	2	1
6	私は、やり始めたことは最後までやりとげています	1	2	3	4	5
7	私は、興味をもっていることが毎年変わります	5	4	3	2	1
8	私は、あきらめることなく活動に取り組めます	1	2	3	4	5
9	私は、考えや計画がうかんでも、強弱があつとあてはまらな	5	4	3	2	1
10	私は、大きな目標を達成するために、失敗を何度も繰り返してき	1	2	3	4	5

出典の合計÷10=自分のグリット・スコア

合計点数 ÷ 10 = スコア

5 取組の成果と課題

授業参観前に指導案に示された子供たちの学習活動における「主体的・対話的で深い学び」の姿を具体的に想像しながら読み込んだり、参観する対象児童を決めて丁寧に見取ったりすることで子供の学びを見る力を向上させることができた。今後、さらに、見取り、解釈し、分析する力を向上させ、子供一人一人の学びを把握し、指導に活かせるよう研修を重ねていきたい。

また、校内研修において算数科の指導法研修を重ねてきたこともあり、以下の成果を得ることができた。

平成31年度 埼玉県学力・学習状況調査 算数	()内は県の値である	
学力を伸ばした児童生徒の割合 (%)	5年 83.3 (79.3)	6年 81.0 (70.8)
学力が伸びなかった児童生徒の割合 (%)	5年 16.7 (20.7)	6年 19.0 (29.2)